

要は考えよう

院長

物事の考え方には、見る方向から違いが生まれてきます。患者さんの立場、医療の立場、それぞれで見る方向が変わると、同じことも違って見えてきます。診療場面で経験される、そんな違いについて考えてみましょう。

親というものは、いつでも子どもは元気で、食欲がなければならぬと思っているようです。カゼをひいたり熱がある場合には、誰でも食欲が落ちてしまいます。カゼの子どもを前に、「食欲が無くて心配です」と、お母さんが深刻な顔で訴えます。いつもではありませんが、私もカゼの時には食欲が無くなることがあります。皆さんも同じような経験をしているはずなのですが、もうひとつ、「しっかり食べないと病気が治らない」という昔からの言い伝えも、呪文のように聞こえプレッシャーになっているのかもしれない。カゼで食欲が落ちることは、当たり前と考えるしかありません。誰でも食欲が無い時に、「病気が治らない」と、どんぶり飯を勧められれば嬉しいはずはありません。病気だけでも身体的ストレスなのに、無理やり食べさせられるという精神的なストレスまで加われば、治る病気も治らなくなってしまうかもしれません。子どもはスプーンをもって待ちかまえている親が、まるで悪魔のようにみえるでしょう。決して無理に食べさせる必要はありません。要は考えようです。食欲が無い時は、食べ物が体の負担になるので、むしろ体を守るために食べなくていいと脳から指令がでていてと考えてみてはどうでしょうか。水分だけしっかり与えて、お菓子、プリン、ヨーグルト、ゼリーなど食べやすい好きなものだけ与えるようにしてください。私の子ども時代では、病気になるとバナナが食べられる、そんなうれしい記憶が蘇ってきました。その頃のバナナは高級品だったのです。

目の前にいる子どもは元気そうにみえるのですが、「元気が無く、ぐったりしている」との訴えもよく耳にします。確かに、顔色が悪く、起き上がれないようなら、ぐったりという表現が適切で、本当に心配な症状です。要は考

えようです。カゼで体力が消耗している訳ですから、安静にして体力を温存してると考えてはみてはどうでしょうか。誰でもカゼをひけば、多少元気が無くなるものなのです。

「家ではぐったりしているのに、病院へ来ると元気。おかしい」ということも聞きます。子どもの視野は狭いので一日中部屋にいると、大人ではトイレに閉じこもっているような感覚です。ですから目新しい場所へ来ると、気分も晴れ晴れして元気になるのです。元気があることをおかしいと思う必要はありません。そう思うのも親御さんの心配からでしょうが。元気が何よりということが、一番大事なことなのです。

下痢や嘔吐の時、食欲が落ちたり、お腹が痛くなります。これも、要は考えようです。腸炎では消化管の働き(機能)が低下している状態です。ですから、腸の機能を使うような食べ物に対して体を守るように働くのです。食べ物が嘔吐や下痢を悪化させる恐れがあるため、わざわざ食欲を落して防御していると考えてみてはどうでしょう。下痢をする前にお腹が痛くなるということは、よく経験されることです。下痢があるとお母さんの多くは、下痢止めの処方を希望します。この理由には、「下痢には下痢止め」という、テレビコマーシャルも影響が強いのもかもしれません。じつは、このような腹痛は体を守る反応と考えるのが医学的な常識です。つまり、下痢の原因であるウイルスや細菌が腸にとどまることは、体にとっては不都合なので下痢止めを使うと下痢は止るかもしれませんが、病気の治りが遅くなったり、症状を悪化させる可能性があるのです。要は考えようです。お腹に溜まった下痢の悪影響を少しでも少なくし、ウイルスや細菌の排泄を早めるために、わざわざ腹痛を引き起こして悪い便を排泄するように、体が指令を出していると考えてみてはどうでしょう。

もちろんすべての状況が、今回の話に当てはまるものではありません。症状の経過や病気の重症度によって判断が違う場合があることを知っておいてください。しかし、こんな考え方を知っていると、症状に神経質になり過ぎずお母さんも余裕を持てるかも知れません。



- ・ 東北大学医学生実習
12月12日(金)
ご協力をお願いします
- ・ 在宅休日当番
12月23日(火) 当院にて
- ・ 急患センター当番
1月4日(日)



12月の
お知らせ

年末年始の休診のお知らせ

12月30日(火)～1月3日(土)

休診になります。

ご迷惑をお掛けしますが、よろしくご理解とご協力をお願い致します。

読者の広場

先月は13通のメールを頂きました。まずは、青葉区の高木さんからのメールです。「川村先生こんにちは。先日は大変お世話になりました。病院でけいれんを起こした高木嶺の母です。メールで失礼します(^_^;)すっかり元気になり毎日走りまわっています！初めての熱とけいれんをおこし、すごく慌てました。けれども先生をはじめ看護婦さん達が慰め、励ましてくれて安心というおおきなクスリをいただいた気持ちで帰ることができました。先生が、家に帰ってからのクスリの予定などもわかりやすくメモしてくださったことも慌てることなく対応できました。さらに次の発熱に対しての話も丁寧にしてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。これからもお世話になると思いますのでよろしくお願いします。」。初めてのひきつけの時のショックはかなり大きいものです。どんなお母さんでも、大慌てしてしまいます。ラッキーという言葉は不謹慎ですが、初めてのひきつけが病院だったのはラッキーというほかありません。お母さんの心配は強かったはずですが、病院という安心感もあったのでしょう。そんな思いが、メールから伝わってきます。そればかりか、お誉めの言葉まで頂きありがとうございました。続いては、青葉区の佐藤さんからのメールです。「佐藤輝（ひかる）と千愛（ちなり）の母です。いつも先生にはお世話になり、有り難うございます<(_ _)>本日の入学前小松島小学校の健康診断でも、お世話になりました。麻疹、風疹の2回目の予防接種の件ですが、帰宅後、母子手帳をよく見ましたら接種していました。(?!?)!!ほんとに、おつちよこちよいですみませんでした。先生が今日いらした事で、輝自身も安心した様子でしたよ(*^。^*)小学校入学という、子供にとってはもちろんですが、母である私にとってモ一大イベントでして・・・先生がいて私自身も安心しました。これからも、先生にはお世話なると思いますが、宜しくお願いします。今日の私のおつちよこちよいの報告と普段なかなかお礼も言えなかつたのでメールしました。これからも安心を持ち帰りたと思います。忙しい毎日かと思いますが、お体には気をつけて下さいね。今日は有り難うございました。」。小さい時から診ている子ども達が、学校へというのは大きな区切りです。就学時健診で先生に会って安心してたと聞くと、こちらもうれしい気分です。お礼と「これからも安心を持ち帰りたと思います」の文章。気持ちが伝わってきます。ありがとうございました。小学校へ行くと小児科にお世話になることは少なくなるとは思いますが、困った時はいつでも、頼ってください。



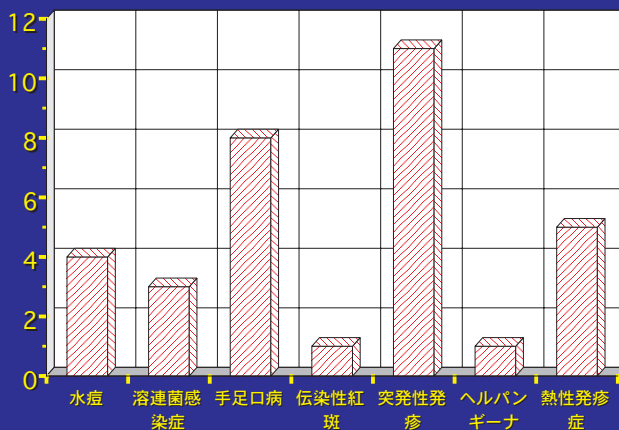
予防接種のお知らせ Hibワクチンの予約が始まりました。詳細は、院内掲示、またはスタッフまでお問い合わせください。接種回数は年齢によって異なります。
料金（1回）7000円（消費税別）
 5才以上のお子さんには必要ありません。

スタッフ募集

看護師さんを募集しています。

基本的にはパートさんが希望ですが、常勤の方でも構いません。正看・准看を問いません。当院の理念のもと情熱を持って働ける人が希望です。勤務時間等の詳細は面談の上。希望の方は受付まで。

11月の感染症の集計



流行していた手足口病は、少なくなってきました。特別な病気の流行はありません。グラフには示していませんが、幸町の小学校でインフルエンザによる学級閉鎖があり、病院で診断したインフルエンザは14例です。しかし、今のところ大きな流行はありません。先日東北放送の取材を受け、大きな流行はないとコメントしましたが、さてどうなることやら。



今年も

クリスマスイルミネーション

日没から22:00頃まで点灯します。是非ご覧ください。

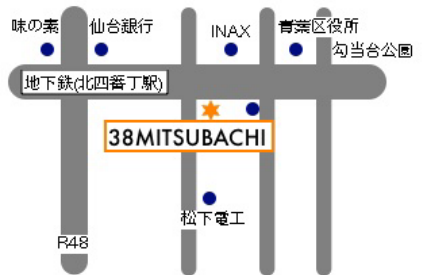
Pancake&Cafe 38MITSUBACHI

青葉区二日町12-25 グランディプレステージ1F
022-721-0238



東北で唯一のバターミルクを使った
パンケーキ専門店

甘いだけでなく食事にもなる新しいパンケーキのスタイル。一枚一枚ていねいに焼き上げる【ふあふあ食感】をお楽しみください。持ち帰りの「ワッフル」も大好評。



クリニックNEWS持参の方、200円割引
（持ち帰りを除き、1組につき1枚）

編集後記

今年も残すところ1カ月となりました。本当に一年が経つのは、あっという間です。何とか、多くの患者さんに支えられて、乗り切ることができそうです。ちょっと早いですが、良いお年をお迎えください。1年間ありがとうございました。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『小学校入学前にも麻しん風しん混合ワクチンを』
 III期（中学1年生相当）、IV期（高校3年生相当）も忘れずに！